

現研 第395回新経営具体化研究会

ITを武器にする経営

—誇り高くわが社のITを磨き上げよう—

■講師 ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社
バイスプレジデント
白川 克氏

■日時 2018年9月6日(木)16:00~18:00

■場所 ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社 (別紙をご参照ください。)
東京都港区赤坂2-14-32 赤坂2・14プラザビル4F TEL03-3560-4061

※当研究会は講演形式を基本としながらも、参加者の疑問点や問題提起に応える質疑応答を重視して進めます。

<プログラム>

セッションⅠ コンサルティングアワー

16:00~16:30

各社が当面するIT課題の克服と未来への布石

※参加各社の問いに講師が答えて議論を展開します。

セッションⅡ 講師によるプレゼンテーション

16:30~17:20

- 会社にとってITとはなんなのか?
- ITプロジェクトはなぜ失敗するのか?
- 経営者はITプロジェクトにどう関わるべきか?
- ITはなぜ高いのか?
- ITはなぜいつも予算オーバーするのか?
- ITを任せる人をどう育てるか?
- ITビジョンとはなにか?どう作るか?
- システムの要件定義のコツ
- パッケージやソリューションの選定方法
- 業務改革とIT
- AIやRPAをどう使いこなすか?
- デジタルトランスフォーメーションの落とし穴

セッションⅢ 質疑応答と相互検討

17:20~18:00

わが社のITをこう磨き上げよう

<講師プロフィール>

白川 克 (しらかわまさる)氏

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)バイスプレジデント。
一橋大学経済学部卒。中堅ソフトハウスでシステム開発を経験後、2000年ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズに転職。以来、IT投資計画策定、人事、会計、販売管理、顧客管理、ワークスタイル改革、全社戦略立案など、幅広い分野のプロジェクトに参加。「空気を読まずに、お客様にとって本当に正しいと思うことを言い、お客様とともに汗をかいて実行しきる」と、コンサルティング・モットー。
基本的に経営幹部・業務担当者・IT部門の三者を結びつけ、共通のゴールに向けて後押しすることで企業変革に貢献している。講演やトレーニングを多数実施する他、ブログでも経営とITをテーマに発信中。幅広いファンを持っている。
著書に『会社のITはエンジニアに任せるな!』(ダイヤモンド社)、共著に『反常識の業務改革ドキュメント』『業務改革の教科書』(ともに日本経済新聞出版社)がある。

ご参加をお勧めします

今回は、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)バイスプレジデントの白川克氏を講師にお迎えして検討を進めます。

氏は、お付き合いしている会社の工場を案内された時の印象をこう語ります。

「『これが俺たちのラインだ、どうだ見てくれ!』という誇りが伝わってきます。(中略)『自分たちはこの装置を武器に戦っていく』という意識を社員は持っていますし、実際に自社の利益の源泉なのです。」

一方、ITに関する日本企業の姿勢をこう指摘します。

「いまやITも、会社を支える重要な「装置」です。ビジネスの命運を握っています。にもかかわらず、自社のITを誇りに思っている社員はほとんどいません」

それではどうすれば、ITを武器に戦っていく会社へと変わるのでしょう。

「経営幹部と業務担当者が主体的にITに関わるしかない、IT部門や外部のベンダーに丸投げすべきではない」

というのが氏の一貫した主張であり、氏が率いるケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(CTP)はその思想を顧客企業と共有してITコンサルティングを推進し、ファンを広げて各社から強固な信頼を勝ち得ています。

各社の課題であるIoT、ビッグデータ、AI活用、RPAへの取り組みは、ITや先端技術の問題である以上に経営テーマそのものであると言えるでしょう。

氏を囲んで、ITを武器にする経営について検討します。今回は、コンサルティングアワーを設定し、参加企業の課題や問題意識についても個別にお答えいただく予定です。

当研究会が、誇り高くわが社のITを磨き上げようとする企業風土、組織体質、社員の共有感づくりへの一助になることを願いつつ、皆様のご参加をお勧めします。

現研所長 大槻 裕志

※上記括弧内のコメントは、講師の著書「会社のITはエンジニアに任せるな!」(ダイヤモンド社)からの引用です。